



平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月11日

上場会社名 株式会社MORESICO 上場取引所 東
 コード番号 5018 URL http://www.moresco.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤田 民生
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 大村 洋一 TEL 078-303-9010
 四半期報告書提出予定日 平成28年7月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年2月期第1四半期の連結業績（平成28年3月1日～平成28年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	6,543	1.8	476	△14.8	559	△13.5	363	△15.9
28年2月期第1四半期	6,430	△0.1	559	18.1	647	20.8	431	39.1

(注) 包括利益 29年2月期第1四半期 170百万円 (△65.0%) 28年2月期第1四半期 485百万円 (56.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	37.52	—
28年2月期第1四半期	44.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第1四半期	24,329	14,187	52.2	1,314.58
28年2月期	24,845	14,251	51.3	1,318.48

(参考) 自己資本 29年2月期第1四半期 12,709百万円 28年2月期 12,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
29年2月期	—	—	—	—	—
29年2月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年2月期の連結業績予想（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,300	1.9	1,000	△6.6	1,200	2.2	750	5.9	77.58
通期	27,300	3.9	2,100	△1.2	2,500	5.1	1,600	4.9	165.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年2月期1Q	9,668,000株	28年2月期	9,668,000株
② 期末自己株式数	29年2月期1Q	610株	28年2月期	610株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年2月期1Q	9,667,390株	28年2月期1Q	9,667,390株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

平成28年7月25日に、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8
(1) 製品およびサービスに関する情報	8
(2) 海外売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の減速が続いている中、円高のさらなる進展や自動車生産および鉄鋼生産が引き続き低迷する等、当社を取り巻く経済環境は厳しい状況にありました。一方、世界経済は、米国が堅調な経済成長を続ける中、中国や東南アジアの経済成長率が鈍化する等、依然先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、すべての部門で売上数量が前年同期を上回りましたが、販売単価の下落、円高により売上高は伸び悩みました。一方で、原材料価格下落に伴う売上原価の低減があったものの、販売費及び一般管理費の増加等により経常減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,543百万円（前年同期比1.8%増）となり、経常利益は559百万円（前年同期比13.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は363百万円（前年同期比15.9%減）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

①日本

（特殊潤滑油）

特殊潤滑油においては、自動車生産に最も影響を受けるダイカスト用油剤を除いて売上数量は前年同期を上回りましたが、販売単価の下落により売上高は前年同期並みにとどまりました。そうした中で、熱間鍛造潤滑剤および冷熱媒体については、新規顧客の獲得等により、売上数量、金額ともに前年同期を上回りました。

（合成潤滑油）

高温用合成潤滑油は、自動車のベアリング向けグリース基油が、国内向け出荷が低調であった一方で、中国向けの出荷増により、前年同期並みの実績となりました。ハードディスク表面潤滑剤は、ハードディスクドライブの生産数量の減少および円高により売上数量、金額ともに前年同期を下回りました。

（素材）

流動パラフィン、ポリスチレン、国内化粧品、医薬品用途が堅調に推移したことや輸出も堅調に推移したことから、売上数量は大幅に増加いたしました。また、金属材料価格下落に伴う販売単価の下落により売上高は前年同期並みにとどまりました。また、金属加工油の添加剤として使用される石油スルホネートも同様に、売上数量は増加した一方で、売上高は前年を若干下回る実績にとどまりました。

（ホットメルト接着剤）

ホットメルト接着剤は、主力である大人用紙おむつ等の衛生材用途が堅調に推移する中、粘着用途では新規顧客の獲得により売上高を伸ばすことができました。

以上の結果、当セグメントの売上高は5,077百万円（前年同期比2.3%増）となり、セグメント利益は299百万円（前年同期比10.8%減）となりました。

②中国

中国では、減税措置に伴い、自動車生産に回復の兆しが見え始めたことから、特殊潤滑油の売上高は堅調に推移した一方で、前年に稼働し始めた天津子会社において費用が先行して発生していることから、中国全体としては減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は684百万円（前年同期比5.4%増）となり、セグメント利益は49百万円（前年同期比32.8%減）となりました。

③東南アジア

東南アジアでは、タイにおける自動車生産が少しずつ回復傾向にあることから、特殊潤滑油の売上高は堅調に推移いたしました。インドネシアにおける子供用紙おむつ向けホットメルト接着剤の販売は、数量を伸ばしたものの、円高により売上高は減少いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は996百万円（前年同期比0.7%減）となり、セグメント利益は95百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

④北米

北米では、堅調な自動車生産を背景に、ダイカスト用油剤の販売が順調に推移するとともに、スルホネートも売上高を伸ばした結果、前年同期を上回る結果となりましたが、販売費及び一般管理費の増加、製品構成の違いにより減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は218百万円（前年同期比5.2%増）となり、セグメント利益は17百万円（前年同期比20.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて516百万円減少し、24,329百万円となりました。主な要因は、その他流動資産が176百万円増加した一方で現金及び預金が125百万円、たな卸資産が219百万円、有形固定資産が131百万円、投資その他の資産が126百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて452百万円減少し、10,142百万円となりました。主な要因は、長期借入金が298百万円、その他流動負債が277百万円増加した一方で支払手形及び買掛金が394百万円、短期借入金が420百万円、賞与引当金が212百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて64百万円減少し、14,187百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,412	2,287
受取手形及び売掛金	6,321	6,278
商品及び製品	2,517	2,412
原材料及び貯蔵品	1,473	1,359
その他	446	623
貸倒引当金	△25	△26
流動資産合計	13,144	12,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,196	3,155
機械装置及び運搬具(純額)	1,812	1,810
土地	2,428	2,424
その他(純額)	646	563
有形固定資産合計	8,083	7,952
無形固定資産		
のれん	984	952
その他	694	679
無形固定資産合計	1,677	1,631
投資その他の資産	1,941	1,815
固定資産合計	11,701	11,397
資産合計	24,845	24,329
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,574	4,179
短期借入金	2,211	1,791
未払法人税等	157	188
賞与引当金	468	256
その他	1,079	1,356
流動負債合計	8,489	7,771
固定負債		
長期借入金	1,548	1,846
退職給付に係る負債	378	377
その他	179	147
固定負債合計	2,104	2,371
負債合計	10,594	10,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,091	2,091
資本剰余金	1,951	1,951
利益剰余金	8,323	8,492
自己株式	△1	△1
株主資本合計	12,364	12,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17	33
為替換算調整勘定	576	351
退職給付に係る調整累計額	△211	△209
その他の包括利益累計額合計	382	175
非支配株主持分	1,505	1,478
純資産合計	14,251	14,187
負債純資産合計	24,845	24,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
売上高	6,430	6,543
売上原価	4,367	4,380
売上総利益	2,063	2,163
販売費及び一般管理費	1,504	1,687
営業利益	559	476
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	52	55
為替差益	17	—
補助金収入	6	55
その他	12	25
営業外収益合計	94	142
営業外費用		
支払利息	4	5
為替差損	—	46
その他	2	8
営業外費用合計	7	59
経常利益	647	559
税金等調整前四半期純利益	647	559
法人税、住民税及び事業税	222	204
法人税等調整額	△73	△73
法人税等合計	148	132
四半期純利益	498	428
非支配株主に帰属する四半期純利益	67	65
親会社株主に帰属する四半期純利益	431	363

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)
四半期純利益	498	428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	18
為替換算調整勘定	△24	△252
退職給付に係る調整額	3	2
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△26
その他の包括利益合計	△13	△258
四半期包括利益	485	170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	434	156
非支配株主に係る四半期包括利益	51	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,583	647	993	207	6,430	—	6,430
セグメント間の内部 売上高又は振替高	379	2	10	—	392	△392	—
計	4,962	649	1,003	207	6,821	△392	6,430
セグメント利益	335	73	110	22	539	20	559

(注) 1. セグメント利益の調整額20百万円には、セグメント間取引消去21百万円、たな卸資産の調整額△1百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年5月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,665	682	982	214	6,543	—	6,543
セグメント間の内部 売上高又は振替高	411	2	14	4	431	△431	—
計	5,077	684	996	218	6,974	△431	6,543
セグメント利益	299	49	95	17	460	16	476

(注) 1. セグメント利益の調整額16百万円には、セグメント間取引消去19百万円、たな卸資産の調整額△4百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 製品およびサービスに関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年5月31日)

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
化学品事業	6,530	101.8
特殊潤滑油	2,942	99.8
合成潤滑油	712	95.9
素材	838	99.5
ホットメルト接着剤	1,650	102.6
その他	388	141.2
賃貸ビル事業	13	99.0
合計	6,543	101.8

(2) 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年5月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(百万円)	2,122	319	23	2,464
II. 連結売上高(百万円)				6,543
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	32.4	4.9	0.3	37.7

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール

北米……………米国、メキシコ

その他……………アラブ首長国連邦、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。